

講演会・例会のご案内

(9月10日～11月9日)

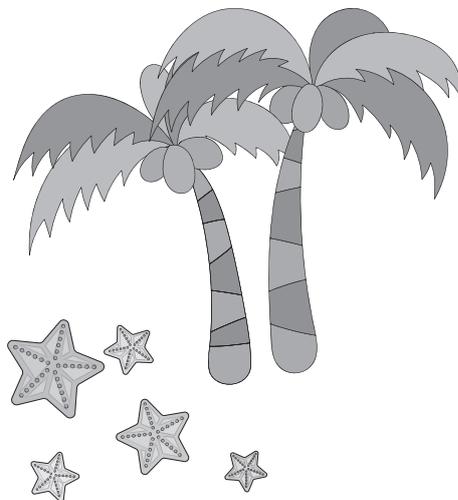
カリキュラムコード(略称：CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理：臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理：研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便通異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的血尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥下困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
09/18 (金) 19:30	鳥取県 (Web講演会)	沖縄精診学術講演会 (Web講演会) (日医生涯教育講座) ストレスと炎症~どう捉える? うつ病発症のメカニズム	岩田 正明(鳥取大学医学部 精神行動分野准教授)	70)1.0単位	沖縄県精神科診療所協会 石原 098-879-3303 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い：11月10日～1月9日迄の講演会例会等が決まれば、9月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。



産業医研修会のご案内

令和2年度 産業医研修会について

令和2年度みだし研修会を別紙により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修アルファベットに○印を付けてください。

申込み研修番号	A	B	C 延期	D	E 延期	F 延期	G	H
	7/29	9/30	8/6	7/15	8/22	9/3	10/7	12/5
参加申込者氏名								
施設名								
TEL								
認定区分	認定医 ・ 未認定医							
有効期限 ※認定医の場合	年 月 日							

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務1課
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

令和2年度沖縄県医師会産業医研修会

No	日時	場所	基礎研修	生涯研修	カリキュラム (付与単位数)	講師名	研修テーマ	備考
終了	7月29日(水) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)前期 (2)前期		(1)総論 (2単位) (2)健康管理 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)産業医活動のABC～ 産業医活動のミニマム・リ クワイアメント～ (2)産業医に求められる健 康診断の基礎知識	未認定医対象 ※4月分振替 終了
B	9月30日(水) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)前期 (2)前期		(1)作業環境管理 (2単位) (2)メンタルヘルス 対策(2単位)	(1)清水隆裕 (2)山本和儀	(1)"KY"な作業環境管理 (2)職場のメンタルヘルス 活動入門	未認定医対象 ※5月分振替
C	8月6日(木) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)後期 (2)後期	(1)専門 (2)更新	(1)総論 (2単位) (2)労働衛生関係 法規と関係通達の 改正(2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)産業医活動の原点～職 場巡視、安全衛生委員会、 健康に関するアドバイスと 面接指導など～ (2)改正健康増進法と職場 の受動喫煙対策	※6月分振替 ※延期
終了	7月15日(水) 18:30～21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)実地	(1)実地	(1)メンタルヘルス 対策(3単位)	(1)山本和儀	ストレスチェックを活用し た職場の環境改善	終了
E	8月22日(土) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)後期 (2)後期	(1)専門 (2)専門	(1)健康管理 (2単位) (2)健康保持増進 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)産業保健における健康 管理～職場における産業医 の健康管理への関わり方 (2)健康診断・保健指導・ 二次健診	※延期
F	9月3日(木) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)後期 (2)後期	(1)専門 (2)専門	(1)作業管理 (2単位) (2)作業環境管理 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)職場における作業管理 の進め方～過重労働対策と しての長時間労働者に対す る面接指導を中心に～ (2)ハザードとリスク 減ら せない危険をどう考えるか	※延期
G	10月7日(水) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)後期 (2)後期	(1)更新 (2)専門	(1)労働衛生関係 法規と関係通達の 改正 (2単位) (2)メンタルヘルス 対策(2単位)	(1)清水隆裕 (2)山本和儀	(1)労働時間を管理する "残業時間"に注目して (2)働き方改革時代の職場 のメンタルヘルス活動	
H	12月5日(土) 18:30～21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)実地	(1)実地	(1)作業環境管 理・作業管理 (3単位)	(1)清水隆裕	(1)職場の受動喫煙対策の すすめ方(実践編)	

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※上記研修会は日本医師会へ申請中です。場所、研修タイトル等が変更になる場合がありますのでご注意ください。

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
活動希望地区	①北部 ②中部 ③南部 ④那覇市内 ⑤本島全域 ⑥離島可
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
活動可能な曜日・時間 について	① 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日 ②第() _____ 曜日 ③希望時間帯 (午前 ・ 午後 ・ _____ 時以降 ・ 特になし)
ストレスチェックの 実施者 に なることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 に なることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者 に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会 業務1課(久場)
 TEL : 098-888-0087
 FAX : 098-888-0089

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑ 年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間 : 午前9時30分~午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	医師年金
●基本：月払 加算：月払	●81コース
日払保険料 60,000円	加入年金額 月額15万 60,000円
加入年金額 10.7万	加入年金額 月額15万 12,000円
●基本年額 72,000円	加入年金額 月額15万 17,200円
●加算年額 24万 9.6万円	加入年金額 月額15万 17,200円
合計月払保険料 72,000円	加入年金額 月額15万 17,200円

設定条件をご確認ください。

試算日	平成 27年 9月 7日
生年月日	昭和 50年 1月 1日
試算自年額	40万
加入申込期間	平成 27年 6月 15日
加入申込年日	平成 27年 7月
加入申込年齢	40歳 6ヵ月
加算申込開始年日	平成 27年 7月
年金受取開始年日	平成 52年 1月
年金受取開始年齢	65歳
私払保険料合計	25,166,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、18日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「毎月年金」は、加入者ご本人であれば一生受取可能なことが可能です。
- ・「仮受取額15万」では、他給者ご本人が65歳到達中に死亡した場合は、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「他給者」は、加入者ご本人が65歳到達後に死亡した場合は、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・受取開始年齢は、75歳まで繰上可能です。
- ・「受取年金額」は、繰上は利率1.5%での計算となります。繰上、繰下の繰上決定額に利率差額は、実額に含む場合があります。

加入年金額 月額15万 60,000円	加入年金額 月額15万 12,000円	加入年金額 月額15万 17,200円	加入年金額 月額15万 17,200円
15年受取総額 18,900,000円	15年受取総額 25,212,000円	15年受取総額 26,874,000円	15年受取総額 26,874,000円
●82コース	●83コース	●84コース	●85コース
加入年金額 月額15万 12,000円	加入年金額 月額15万 17,200円	加入年金額 月額15万 17,200円	加入年金額 月額15万 17,200円
15年受取総額 18,900,000円	15年受取総額 25,212,000円	15年受取総額 26,874,000円	15年受取総額 26,874,000円

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

[医師年金の特長](#)
[医師年金のしくみ](#)
[医師年金シミュレーション](#)
[よくあるご質問](#)
[手続きガイド](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

[保険料からシミュレーション](#)
[受給年金からシミュレーション](#)

日医ホームページからの場合

1 保険料からシミュレーション
 ご希望の保険料を入力すると、受給する年金額の概算が試算できます。

2 受給年金からシミュレーション
 ご希望する年金額を入力すると、保険料の概算が試算できます。

3 マイページ登録
 お名前、生年月日、メールアドレスで簡単に登録できます。
[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4 マイページへログイン
 シミュレーションの結果を最大5件まで保存できます。
 年金の受取開始年齢の延長や、加算保険料増額の際の試算等、詳細なシミュレーションが可能です。

日本医師会 **医師年金** **スマホ・パソコンで簡単手続き**

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
 (申込みは、満64歳3カ月までをお願いします)

アニメーションで仕組みを確認 

シミュレーションで保険料を試算  

一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み
 (保険料のお支払いは後日ご案内します)
 ※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先
 日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

生涯教育／プライマリ・ケア

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名 発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名、(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名、URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き。http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

平成 29 年 7 月 1 日より

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

新型コロナの影響で8月と9月の医師会報が合併となっています。本号の目玉はやはり緑陰随筆になると思います。21人の先生方が昔の思い出や、最近の出来事や、趣味の話など様々なエッセイが掲載されて楽しく読むことができます。その中で豊見城中央病院の呼吸器内科の佐藤陽子先生の「COVID-19診療」は興味深く読みました。4月初旬からCOVID流行第一波に備えて簡易陰圧装置を使った陰圧病棟を作ったり、病棟に即席の医局を作ったり、挿管チームを作ったりしたそうです。日々更新されるコロナに関する新しい情報をインプットしながら、様々な原因で訪れる発熱患者を診察するのは本当に大変だったと思います。その他のコロナの患者を受け入れている病院のすべてのスタッフにあらためて敬意を表したいと思います。

この文章を書いているのは新型コロナの第二波が訪れた、まったく中の頃です。7月の連休中にたくさんの観光客が訪れたあと、沖縄でも爆発的に感染者が増え、10万人あたりの1週間の感染者が40人以上で全国1位になっていたときです。連日地上波でもBSでもコロナ関連の放送があり、専門家の方々が多数出演されています。感染症専門家の方でも微妙に発言内容が異なるため観ている方もとまどいます。

例えばPCR検査を積極的に行って、たとえ無症状でも感染者をみつけて隔離するべきという意見と、あまり安易に検査をやると、たちまち陽性者が増えて医療崩壊するため、症状のあるもの、重症化するおそれがある者のみにやるべきだという意見があります。個人的には、孫子の兵法にあるように、敵を知り、己を知れば負けることはないと思っているので、積極的検査派です。しかし、孫子は敵を知らなくても、己を知っていれば勝敗は五分五分であるとも言っているので、己に余裕のな

いときには検査をしぼっても仕方ないかもしれません。

最近ではドイツやニューヨークや韓国など、封じ込めにある程度成功した事例から、積極的検査派が優勢ですが第三波、第四派がくればどちらが正しいのかわかりません。日本はあまり検査をしていないため、コロナの重症化率や死亡率がわからないという意見がありますが、不幸中の幸いというべきか、ダイヤモンド・プリンセス号の経験があります。乗員乗客3,711人中PCR検査陽性者が約2割の712人で、そのうち331人（陽性者の46.5%）が無症状でした。重症者は50人（陽性者の7.0%）でそのうち死亡者は13人（陽性者の1.8%）でした。クルーズ船の乗客の年齢は高いようですので一般の死亡率はもっと低くなると思われます。このデータには様々な国から問い合わせがあり、米国なども自国クルーズ船のコロナ感染発生の際、対応の参考にされたそうです。

経済評論家の議論と違って、医学の問題はいずれ誰の意見が正しかったのか明らかになることが多いと思います。そのとき誤った意見を責めるのではなく、どう対処すれば良かったのか正確な検証が必要と思われます。検査を広げるべきかどうかだけではなく、コロナを単なる風邪として扱うべきか指定感染症として扱って良かったのか、全国一斉の非常事態宣言をすべきか、各自自治体ごとにすべきかなど、まだ結論が出ていない問題が多数あります。外国ではすでに多数使用されているアビガンの効果はどうかなどもわかっていません。今回の新型コロナ感染症について少しずつでも科学的な検証がなされ、今後の対応が適切なものに収斂されていくことを願っています。

広報委員 古堅 善亮